

# 獨協医学会

会 長 寺 野 彰 (獨協医科大学学長)

## 運営委員会委員

秋山 一文*	杉田 憲一**	石光 俊彦	石井 芳樹	犬飼 敏彦
上田 善彦	内田 幸介	遠藤美根子	大平 修二	大類 方巳
黒須 明	篠田 元扶	杉本 博之	桑島 成子	千種 雄一
中元 隆明	西山 緑	春木 宏介	濱口 眞輔	簀持 淳
服部 良之	平林 秀樹	本田 幹彦	緑川由紀夫	

\*委員長 \*\*副委員長

## Dokkyo Journal of Medical Sciences 編集委員

石光 俊彦*	千種 雄一**	石井 芳樹	犬飼 敏彦	上田 善彦
篠田 元扶	中元 隆明	簀持 淳	服部 良之	平林 秀樹
本田 幹彦				

\*委員長 \*\*副委員長

## 編集事務員

鯉沼 行子

## 編集後記

Dokkyo Journal of Medical Sciences/獨協医学会雑誌第37巻第1号をお届けします。本号には英文原著2編、和文原著2編、英文症例報告1編、和文症例報告1編、英文総説1編、学位申請論文6編が掲載されております。この場をお借りして、ご尽力戴きました皆様方に厚く御礼申し上げます。

ふり返りますと2009年はまれにみる激動の年でした。リーマンショックによるアメリカの金融不況に端を発した世界同時不況、地球温暖化の進行に伴うエコ時代の到来、アメリカでは初の黒人大統領の誕生、次いで我が国では自民党の衆院選大敗と民主党の躍進による政権交代とめまぐるしい一年でした。新政権による予算編成は「事業仕分け」に揺れ、やっと決着しましたが、大幅な削減を提示された科学技術振興予算はノーベル賞受賞者を中心とした科学者の抗議により復活されたことは何より幸いでした。社会保障関係では診療報酬が10年ぶりに実質わずか0.19%ながらプラス改訂となりました。これにより財源は医師不足になやむ診療科に重点的に配分されることとなりました。

一方昨年3月にメキシコを基点に世界的な流行をきたした新型インフルエンザが秋より全国的に拡大し、ワクチン接種などの対応に診療現場が混乱しました。獨協医科大学病院でもインフルエンザ外来が設置、運営され、多くの医師がそれに対応して参りました。一応沈静化に向かっていますがまだまだ予断は許されません。

また獨協医科大学の臨床面では外来棟がリフォーム、リニューアルされ、より近代的な診療体制が敷かれ、外来診療が活性化されています。そして今年1月20日より、いよいよドクターヘリの運航が開始されました。運航は生命の危機が切迫している場合や、重症患者の運送に長時間を要する場合などに限られますが、20分以内に栃木県内ほぼ全域に到着することが可能で、年間300回の出動が見込まれており、本県の救急医療体制充実に向けた新たな一歩といえます。

本学の教育・研究面では、本学大学院において昼夜開講制が平成20年度より導入され、注目されています。これは近年の新臨床研修制度の施行や臨床科において専門医・認定医を重視する傾向にあるため、研修修了者の大学院進学が激減したことから、よりフレキシブルな教育・研究体制を整え、社会人にも門戸を拡げ、大学院の定員充足および活性化を図るというものです。実際に平成20年以降、大学院入学者の数は増加しており、臨床と研究を両立させようと夜間や休日にも研究する人が増えてくるのではと期待いたします。

さて、Dokkyo Journal of Medical Sciences/獨協医学会雑誌は本号以降、著者抄録が医学中央雑誌基本データベースに載ることとなりました。これを機に本誌を通じて本学を国内外にさらに広くアピールし、飛躍、発展させる一助となれりと存じます。今後とも皆様方のご指導ならびにご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。(簀持 淳)

2010年3月20日印刷

第37巻 第1号

2010年3月25日発行

編集発行人

獨協医学会

寺 野

彰

発行所

獨協医学会

製 作

教 文 堂

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880番地  
獨協医科大学  
Tel (0282) 86-1111 (内線2009)

〒162-0804 東京都新宿区中里町27  
Tel (03) 3260-6136